

医療情報標準化推進協議会  
平成 16 年度第 1 回理事会、総会議事録

日 時 2004 年 7 月 7 日(水) 13:30 - 14:45

場 所 山上会館 201-202 会議室

出席者 理事；向井、辻、武隈、公文(MEDIS)、大江、木村、豊田、稲岡(JAMI)、  
尾崎、篠田、香川、西村、深尾(JAHIS)、石垣、村田、安藤(JRS)、  
遠山、倉西、梅田、奥田(JSRT)、西原、吉村、井桁(JIRA)

監事；飯山(JSRT)

正会員；蛭名(HL7)、畠沢(PACS)

個人会員；矢野

オブザーバ；飯田(JAHIS)、渡辺(東大)

事務局；岡峯(MEDIS)

議題

1. 出席理事および議決権行使理事の確認（資料 1）
2. 前回理事会(2003.7.4)の議事録確認（資料 2）
3. 役員人事について（資料 3）
4. 標準化指針の提案申請について  
(1) 病名マスタ（資料 4）
5. 標準化レポートの作成について（資料 5-1、5-2、5-3）
6. 平成 15 年度事業報告について（資料 6、資料 10）
7. 平成 15 年度収支決算報告書(案)について（資料 7-1）、会計監査報告（資料 7-2）
8. 平成 16 年度事業計画(案)について（資料 8）
9. 平成 16 年度収支予算(案)について（資料 9）
10. 第 2 回シンポジウムの開催について
11. 各幹事会員からの標準化近況報告
12. パンフレットの作成について（資料 11）

【配布資料】

- 資料 1 幹事会員及び理事・監事名簿
- 資料 2 平成 15 年度第一回理事会議事録
- 資料 3 理事の異動
- 資料 4 標準化指針 標準病名マスタ
- 資料 5-1 医療情報標準化解説記事 標準医薬品マスター
- 資料 5-2 医療情報標準化解説記事 JAHIS 規格
- 資料 5-3 医療情報標準化解説記事 JPACS 医用波形記述規約

- 資料 6 平成 15 年度事業報告
- 資料 7-1 平成 15 年度収支決算報告書(案)
- 資料 7-2 会計監査結果報告書
- 資料 8 平成 16 年度事業計画(案)
- 資料 9 平成 16 年度収支予算(案)
- 資料 10 第 1 回シンポジウム 配布資料
- 資料 11 パンフレット
- 参考資料 1 医療情報標準化推進協議会会則
- 参考資料 2 「医療情報標準化指針」提案申請に関するルール
- 参考資料 3 第 1 回シンポジウム掲載記事

## 議事内容

### 1．出席理事の確認。

出席理事数の確認がされ、定足数を満たし、理事会の成立している旨が確認された。

### 2．前回議事録の確認

資料のとおり承認された。

### 3．役員の異動

役員の異動について原案のとおり承認された。

保健医療福祉情報システム工業会から理事交代に伴い、尾崎副会長に代わり、篠田理事が副会長として推薦され承認された。

### 4．提案申請について

受付番号 005「ICD10 対応電子カルテ用標準病名マスター Ver2.30」は、申請元の(財)医療情報システム開発センター武隈理事から内容の説明があった。「医療情報標準化指針」提案申請に関するルールに基づき、申請を協議の対象とすることが議決された。大江会長は協議のための委員会の委員長を木村理事に決定し、承認を得た。

### 5．標準化レポートについて

- ・「標準医薬品マスター(通称 HOT 番号)」について(財)医療情報システム開発センター 武隈理事から内容の説明があった。更新体制性について質問があり、遅くとも登録の翌日には HOT 番号を附番してホームページに掲載していることを追記することになった。
- ・「JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.10」「JAHIS 処方データ交換規約 Ver1.1」

「JAHIS 健診データ交換規約 V.1.3」「介護標準メッセージ仕様 Ver1.0」「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver2.0」「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版> Ver.2.0」について、保健医療福祉情報システム工業会 篠田理事から内容の説明があった。資料入手についてはホームページから見られることを追記することになった。また、健診情報交換規約については7月中に標準化指針提案を行うと説明があった。

- ・「JPACS 標準化作業(医用波形記述規約)」について PACS 研究会 畠沢正会員より説明があった。資料の提供方法については数ヶ月中にホームページに公開されることを追記することになった。

すべてのマスター、規約が標準化レポートとして発行する旨承認された。すでに採択されている指針については、指針番号などの情報を追加し、ホームページに掲載することになった。

#### 6．平成 15 年度事業報告について

大江会長より事業報告があった。標準化規格の審議について、JAHIS 交換規約が抜けていると指摘があり、確認のうえ訂正することになった。

#### 7．平成 15 年度収支決算報告・会計監査報告について

事務局より説明があった。引き続き飯山監事より監査報告があり承認された。

#### 8．平成 16 年度事業計画について

大江会長より事業計画について説明があり、以下のような提案や意見が出され、承認された。

- ・「標準臨床検査項目コード」については、(財)医療情報システム開発センターと日本臨床検査学会が協議のうえ、提案することになった。
- ・JJ1017 指針(HIS-RIS-PACS モダリティ間情報連携指針)については、保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)と(社)日本画像医療システム工業会(JIRA)が協議のうえ、提案することとなった。

#### 9．平成 16 年度収支予算について

事務局より説明があった。現在は 16 年度予算を、シンポジウムを開催し、交通費を支給を執行した場合、繰越金が 70 万円減ることになり、2 年ほどで予算が不足することとなる。会員を増やし収入を増やす方向で考えてはどうか。たとえば(財)医療情報システム開発センターと日本臨床検査学会の共同の指針提案であれば、日本臨床検査学会に会員になってもらうよう働きかける。来年度以降、収入に見合う予算をたてることで承認された。

## 10. 第2回シンポジウムの開催について

木村理事より、11月25日(木)午後、名古屋で医療情報学連合大会にあわせて開催の予定。内容は画像系を中心に、すでに運用されている(財)医療情報システム開発センター(MEDIS 提供)のマスタの説明、J-MIX の紹介などを予定している旨、説明があった。

## 11. 標準化近況報告

各幹事会員より、標準化近況報告がされた。

- ・(財)医療情報システム開発センター 武隈理事

15年度は従来の5つのマスタに、歯科病名、症状・所見、看護、画像マスタを開発した。新4マスタについては評価版をホームページに掲載している。16年度はマスタ説明会を各地で開催する予定である。また、標準化レポートに報告するように提案があった。

- ・保健医療福祉情報システム工業会 篠田副会長

平成15年度実施した「病院内機器システムの効率化に資する電子カルテ等標準化調査事業」について報告があった。アンケート調査により、標準化は開発するだけでなく利用して改良していくことが重要であると認識された。

- ・(社)日本画像医療システム工業会 吉村理事

IHE-Jについて、我が国で初めてベンダー20社が集まりコネクタソンを行った。また、本年4月横浜でデモ展示を行った。

- ・日本医療情報学会

4月にルクセンブルクでITUの医療情報分野の会議が開催されて、HL7、DICOM、CEN、ISO/TC215、IEEE、WHOなどが参加した。(木村理事) ISO/TC215国内対策委員会の委員長が辻内委員長から豊田委員長に交代した。5月ワシントン会議のTC総会で電子カルテの定義に関する文書が承認され、秋以降、投票・発行の予定。次回合同WGは9月にサンフランシスコでmedinfoにあわせて開催される予定。また、JAMIにおいてもワークショップを開催する予定である。(豊田理事、木村理事)

- ・HL7協会 蛸名正会員

7月13日(火)に総合セミナーと懇親会を開催予定、110名の参加予定である。

## 12. パンフレットについて

大江会長より、パンフレット(資料11)を4,000枚印刷し、7月14日から開催されるホスピタルショウ会場で配布されることが報告された。各団体で会合がある場合は、事務局から必要部数入手が可能である旨、説明があった。